

総務委員会議事録

1. 日 時 令和5年7月14日（金） 10時～11時40分

2. 場 所 春日井商工会議所 4階 会議室DEF

3. 出席者数 委員長 1名

委 員 13名

アドバイザー 1名

オブザーバー 2名

副会頭 1名

事務局 6名

合 計 24名

4. 議 題

1. 令和5年度行政庁等への意見要望（案）について
2. その他（意見交換）

5. 議 事

課長補佐 高木 雅也

定刻に至り、開会を宣し清水委員長に挨拶を求める。

委員長 清水 隆行

挨拶を述べる。

課長補佐 高木 雅也

委員会規程により、議長に清水委員長を指名し、議長就任を要請する。

（委員長 議長に就任）

議 長 清水 隆行

議事に入り、議題1. 令和5年度行政庁等への意見要望（案）について事務局に説明を求める。

課 長 伊藤 伊月

令和5年度行政庁等に対する意見要望（案）について、春日井市14項目（まちづくり、税制、観光・観光コンベンション協会、市施策）、愛知県2項目（空港、道路）、日本商工会議所、地元国会議員を通しての国への6項目（税制、事業承継、その他）について、資料を基に説明。

議 長 清水 隆行

議題1. について、各委員に質問・意見を求める。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

本件については年中行事のように感じるかもしれないが、F D A丘珠便就航も春日井市が中心となり何度も働きかけをした結果、実現したものであるため、年中行事として捉えないようにお願いしたい。

委 員 若月 宗一

事業所税やインボイス制度もそうであるが、悪法はなくしていく方向で働きかけて欲しい。合理的でない手法で手間暇ばかりかかり生産性も向上しないので、全国規模の商工会議所の力を使って動いて欲しい。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

事業所税に関しては、春日井市に要望を出しても法律の壁で実現は難しいため、項目 2 2 で日本商工会議所や地元国会議員を通して、しっかりと国に要望を出していくべきである。

議 長 清水 隆行

議題 1. について、他に質問・意見を求めるも特にないため、議題 2. その他について事務局に説明を求める。

課長補佐 高木 雅也

これから 3 グループに分かれて「会員増強方法」について意見交換を行うにあたり、会員増強に関する近年の取組み、会員数の推移について資料を基に説明。

《 A ・ B ・ C の 3 グループに分かれて意見交換 》

■ A グループ

- ・非会員が会議所を利用したら、すぐ入会手続きができるようマニュアル化
- ・会員周辺の事業所の加入状況がわかる名簿やデータの情報共有（個人情報配慮が必須）
- ・退会防止策として、入会后、何らかの形で定期的に接触する。
- ・組織率 4 4 % という数字の見せ方で、会員ステータスを UP させる。

■ B グループ

- ・非会員が会議所を利用したら、青年部や女性会に情報を提供することで、各会のメンバー増強と会員加入の相乗効果が得られる。
- ・会員からの紹介加入件数が見える化、表彰制度の創設
- ・会員数が減少すると今後、商工会議所がどうなるか、何がいけないのか等、会員増強をしなければいけない目的を役員議員や会員に説明する機会の創出。
- ・加入初年度は会費無料でお試し加入とする。

- ・アドバルーン設置（古いやり方の方が目立つ）

■Cグループ

- ・一律のDMではなく、業種別規模別に内容を変えたDMを作成する。
- ・街中で会議所を知ってもらう工夫をする。のぼり旗の設置や以前実施していた移動会議所を公民館などに設置し、簡単な相談等に対応する。
- ・加入メリットとして、入会報告を会報やSNSなどで発信し、会議所との繋がりを深める。
- ・産学連携のひとつとして、学生と企業が企業課題を考え、それが就職、事業継続に繋がっていく長期的な加入メリットを打ち出す。

課 長 伊藤 伊月

本日いただいた意見は、総務委員会の下部組織でもある組織拡大委員会でも情報共有しながら、できることから取り入れていけるよう検討していきたい。

議 長 清水 隆行

最後に、委員会・部会報告を各委員長、部会長に求める。

委 員 針尾 智子

サービス業部会では、7月27日に写真を活用して集客&売上UPノウハウ講座、8月3日に多様で柔軟な働き方セミナーを実施する。SNSに関する個別相談会も設置する予定である。

委 員 林 登茂子

商業部会では、先日シンポジウムを開催し、中部大学の寺澤先生がファシリテーターとして上手く質問を引き出してくれ、非常に充実した時間となった。今後はプレミアム付き商品券事業もスタートするため、事業者としても市民としても沢山利用して市内の経済を回していきたい。

委 員 山田 晶子

雇用促進・人材育成委員会は、5月30日に委員会を開催。新春経済講演会の講師についてもグループで意見交換をし、人をまとめる力、モチベーションを上げる力、人を動かす力について聞いてみたいという意見から、WBC侍ジャパンの白井ヘッドコーチを第一候補として打診中である。

委 員 長谷川 弘尚

生産性向上・業務効率化委員会は、5月30日に委員会を開催。6月22日にIT・ものづくり補助金セミナーを実施。今後は9月5日に東洋電機(株)の工場視察会、9月6日はChat GPTセミナーを予定しているため、是非参加をお願いしたい。

委員 三尾 友貴美

企業間交流・産学連携委員会は、5月18日に委員会を開催。メッセナゴヤ共同出展は14社での出展を目指しており、現在12社の申込となっている。また7月25日には行政マッチング商談会説明会を開催する。

委員 野間 峰彦

事業継続・新事業創出委員会は、6月8日に委員会を開催。業績は良いが事業廃止をする方の情報を掴み、市内で新規事業を創設する方と情報共有を上手くやっている所が郡上市であるということで、視察を予定している。

委員 伊藤 孝之

活力あるまちづくり委員会は、市の現状を把握する機会として、市企画政策課の鈴木課長とアドバイザーの余川先生にお話いただいた。今後は産業に関する動きを把握しながら、今年度中には何らかのアクションを起こしたい。

委員 木野瀬 将大

青年部では、昨年5月から9月にトライアルサウンディング事業として「aiある Kasugai」という賑わい創出事業を落合公園で行った。今年度も春日井市の魅力を発信するため、8月19日・20日はイーアス春日井、9月13日・14日・15日はJR春日井駅で開催する。

委員 針尾 智子

女性会では、来年2月3日に「かすがい女性起業ビジネスコンテスト」を開催する。身近に女性の起業者がいましたら是非お声がけいただきたい。

オブザーバー 金子 幸治

商工業振興審議会では、今後5年間のアクションプランの検討と中小企業振興基本条例の制定を検討している。その中で、地域の中小企業は商工会議所や商店街に率先して加入する努力義務を課すことで動いている。

議長 清水 隆行

以上で議案を終了したことを告げる。

課長補佐 高木 雅也

鈴木アドバイザーに挨拶を求める。

アドバイザー 鈴木 清明

会員増強方法についての意見交換は、中部大学としても学生募集やイベント、幸友会の会員募集など、同じ課題を共有でき、意見交換ができた。新たな取り組みをするときは、やる側も受ける側もワクワクするような事ができれば一番良

いと思う。中部大学としてもできるだけ協力していきたいと考えている。

課長補佐 高木 雅也

続いて、木野瀬副会頭に挨拶を求める。

副会頭 木野瀬 吉孝

会員増強については、会員に寄り添う気持ちが必要で、職員の会員企業訪問等を定期的に実施して欲しい。

奨学金補助の要望については、企業が一定の負担をして社員と一緒に返済するので非常に大変ではあるが、春日井市全体の補助制度として実施できたら、とても良い街として認識され、人材募集の面でも市も企業もメリットとなりうるので、他の意見要望についても、その方向性を示す商工会議所活動でありたい。

最後に11月6日、女性活躍推進セミナーが愛知県主催で県内3か所にて開催される。そのうちの1つが春日井市で開催され、パネラーとして私と針尾委員、白木事務局次長が登壇するため、是非参加をお願いしたい。

課長補佐 高木 雅也

本日の総務委員会の閉会を宣す。

時に、11時40分